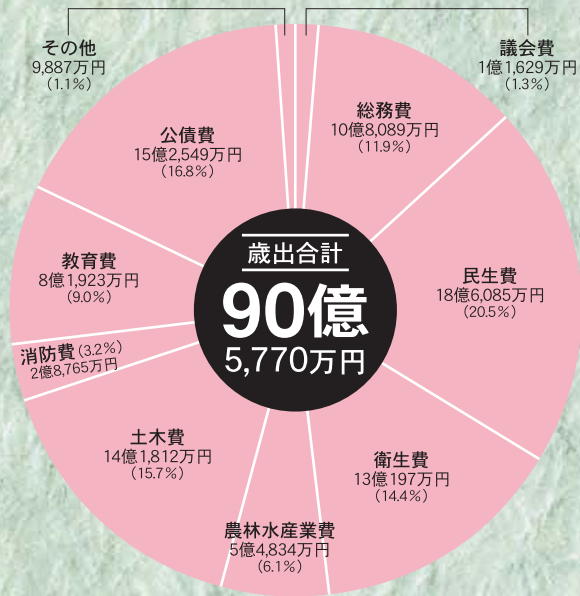


特別会計

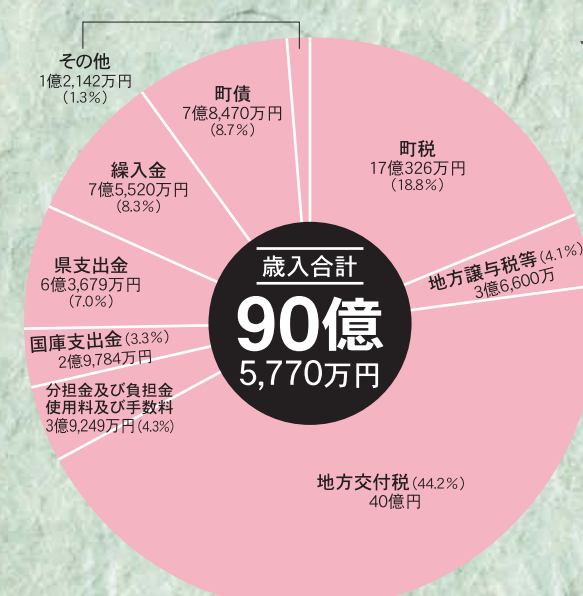
会計別当初予算

会計名	金額
老人保健特別会計	1,054万円
後期高齢者医療特別会計	2億808万円
介護保険特別会計	16億5,874万円
国民健康保険特別会計	19億1,300万円
下水道事業特別会計	14億9,047万円
分譲宅地造成事業特別会計	5,590万円
ケーブルテレビ事業特別会計	1億223万円
水道事業会計 収益的支出	3億4,168万円
水道事業会計 資本的支出	5億9,615万円

一般会計歳出



一般会計歳入



90億5,770万円

一般会計総額

平成21年度 予算

平成21年度の主な事業

- 町歌・町民音頭の作成 359万円
- 県営土地改良事業費 7,350万円
- 町道R-4号線道路改良事業 8,500万円
- 町道K1-1号線消雪事業 2,800万円
- 環境フォーラム開催費 41万円
- 家庭用廃食用油BDF化モデル事業 23万円
- 妊婦健診助成事業(5回から14回) 1,025万円
- 自動体外式除細動器(AED)8台 265万円
- 雨の宮古墳群保存修理事業 1,262万円
- 水圧適正化整備事業 4,900万円
- 機械電気設備新設改良整備事業 7,750万円
- 高度浄水施設等整備
(代替水源施設)工事業 2億4,490万円
- 緊急時給水拠点確保等
(緊急時連絡管)工事 1億3,120万円
- 下水道長寿命化対策事業 3,800万円



現在の経済状況について政府は、1月の月例経済報告で「景気は急激に悪化している」としており、政策の基本方針については、当面は「景気対策」、中期的には「財政再建」、中長期的には「改革による経済成長」という3段階で経済政策を進めることとしています。

先行きについては当面悪化が続くとみられ、急速な減産の動きなどが懸念されます。それとともに、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動の影響など、景気をさらに下押しするリスクが存在することに留意する必要があります。

平成21年度の当町の歳入は、景気の悪化により法人町民税や地方交付税の減少が懸念されます。固定資産税も評価替により減少することから、歳入一般財源の確保は今後益々厳しくなる状況です。

歳出では、今後も下水道施設整備など過去に実施してきた社会資本整備事業にかかる償還金と、少子高齢化および福祉施策の充実による社会保障関係費が増大することは必至です。

財政調整基金は、平成18年度から毎年約4億6千万円ずつ取り崩しており、平成21年度末残高見込

人間性豊かな 活力ある町づくりを 目指して。

【写真】昨年8月に開催された町祭「織姫夏ものがたり」より

額は約25億円程度になると見込めます。

任期満了による町長選挙と予算編成時期が重なることから、経常的経費や継続事業および国・県で採択を受けた補助事業が、平成21年度予算の主な事業となります。

税収入および受益者負担適正化などの財源確保、ならびに事務事業全般について引き続き費用対効果を見直し、健全財政に努めた予算編成を実施しました。